

職員紹介



県立千厩病院には皮膚排泄ケア認定看護師
摂食・嚥下認定看護師、感染管理認定看護師
が在籍しておりますが今回は感染管理認定看護師の石川泰洋さんをご
紹介します。



認定看護師とは特定の看護分野において、熟練した
看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践で
きる看護師のことをいいます。

感染管理認定看護師の石川泰洋です。
認定看護師は、現在 21 分野あり認定看護師総数は 12,522 人です。
その中で感染管理認定看護師は 1,808 人おり、岩手県立病院では
10 人が資格を取得し各施設で活躍しています。

さて、感染管理認定看護師の歴史からお話しますと、1995 年に創設された日本看護協会認
定看護師制度の第 7 番目の認定看護分野として 1998 年に誕生し、2000 年に感染管理認定看
護師の教育が開始されました。そして 2001 年に日本で最初の感染管理認定看護師 18 名が誕
生しています。

感染管理認定看護師の活動内容としては、①病院内の感染に関連するデータを収集し分析を
すること②ケアの改善に向けた感染防止技術の導入と指導③病院にあわせた感染管理プログ
ラムを立案し効果的な予防と管理を実践することです。そのため、看護科だけではなく組織横
断的に様々な部署へ顔を出し、病院内の全職種の方とコミュニケーションをとりながら情報取
集をして、感染予防に取り組んでいます。そして資格取得後も難しい専門書やガイドラインな
ど、睡魔と格闘しながら最新の知識・技術習得のため日夜勉強に励んでいます。

しかしこのような状況でも乗り越えられるのは、ICT 委員会のメンバーをはじめとする感染
対策委員会の優秀で心温かいメンバーが、私を優しく見守り支えてくれるお陰であり、日々楽
しく活動することができる事に感謝しています。

まだまだ暑い毎日ですが、今年もこれから秋・冬へと向かいインフルエンザや感染性胃腸炎
のシーズンがやってきます。患者さんや職員が感染をしないで、乗り越えられるように全力で
感染対策に取り組んでいこうと思っています。

診療報酬の改定や、医療の高度化・複雑化に伴い感染対策の重要性が改めて見直されている
今、常に患者さんの安全な療養環境の確保と職員の安全を最優先したいと思います。そして感
染管理認定看護師である自分が行えることは何かを考え「創意」と「工夫」を持って病院内の
感染対策へつなげていきたいと思っています。

まだまだあまちゃんですが皆様方ご指導をよろしくお願いいたします。



【千厩夏まつり】

「じぇじぇじぇ！北限のあまちゃんがキティちゃんのような人形に変身！
『アマリン』よりかわいいべえが・・・』『すべての人びとに安らぎと希望を』
の病院理念のもと、老いも若きも心を込めて元気に舞います！」
これは今年の夏まつりおどり・山車競演会でアナウンスしてもらった予定だっ
た紹介文です。残念ながら当日は大雨となり、競演会は中止になりました。
来年も山車がキティちゃんのような人形だったらごめんとも～れ！



「北限の徹ちゃん」

地域のみなさんとの交流、そしていただいたご支援をご紹介します

絵画の寄贈

平成25年4月5日(金)、入院していた佐藤勝男様より「お世話になった職員の皆さんや入院患者さんの癒しになれば」と以前趣味で描かれていた油絵を寄贈していただきました。

また、退院される8日(月)には吉田院長より感謝状と「若草リボンピンバッチ」を進呈いたしました。油絵は5病棟談話室に飾られています。



小羊幼稚園慰問



6月の第2日曜日はキリスト教の「花の日」とされており、毎年、千厩小羊幼稚園の皆さんが当院に慰問のため訪れます。今年も6月6日(木)に園児が当院を訪問してくださいました。入院患者さんや職員を前に、元気に歌やお遊戯を披露した後に、各家庭から持ち寄った花とメッセージカードを患者さんにプレゼントしました。

花を受け取った患者さんは、満面の笑顔になり、園児たちと和やかなひと時を過ごしました。

東磐井盆栽展

6月16日(月)から19日(水)まで、東磐井盆栽会の皆さんによる、丹精込めて育てた盆栽の展示会が病院内で開催されました。

平成9年から毎年、サツキなどが咲き揃うこの時期に開催しており、診察にいらした患者さんや職員等、思わず見入ってしまう見事な盆栽が多数展示してありました。



東磐井盆栽会

千厩警察署から感謝状



7月1日(月)千厩警察署内において、警察協力者感謝状贈呈式が行われ、吉田徹院長が贈呈式に参列し、千厩警察署長より感謝状をいただきました。

日頃、地域安全に尽力したということなど地域への貢献を評価していただきました。

朝顔のたね・花泉ボランティアとの交流会

7月4日(木)当院ボランティア「朝顔のたね～千厩病院を守り隊～」(遠藤育子会長)と花泉の地域ボランティアの皆さんとの交流会が千厩病院大会議室にて行われました。

ボランティアの内容紹介や活動報告などを行った後、院内を見学し交流を深めていました。



花壇整備



5/14退職者の会



6/3朝顔のたね



6/7福祉ボランティア



6/14退職者の会



6/20朝顔のたねと高校生



7/1清田13区



『花めぐり勝手に応援する会』、『清田13区』、『福祉ボランティアの会』、『朝顔のたね』、『千厩病院・退職者の会』の皆さんが当院の花壇の整備をしてくださっています。今年は特に暑くまたお忙しい中、何度も活動していただいております。ボランティアの皆さんありがとうございます。

～出前講演を実施しています～



当院では、地域の皆様方との関わりを大切にするため、医療のことや健康のことの知識や意識を高めていただくよう、職員を講師として派遣しています。



平成25年7月31日(水)に今年度初の出前講演が開催されました。千厩公民館において千厩長生会連合会主催で「長生講座」として吉田院長と大下看護師の講演に約70名の参加をいただきました。



摂食・嚥下障害看護認定看護師 大下 恵

今回看護科からは、“具体的な介護の仕方”をテーマにお話させていただきました。高齢化が進み、老老介護が増加していく中で、介護疲れや具体的な方法を知らないで介護している事があります。そのために、肺炎を起こしたり床ずれを作ったりして入院してくる現状が少なからずあります。そこで、家庭でも楽にできる介護を紹介することで、今後の介護の役に立てられれば幸いと思ってお話させていただきました。

内容は、高齢者の特徴を示した上で、食事の安全な食べ方や床ずれ予防、床ずれ予防につながる体位変換の仕方、オムツの当て方を中心に、写真やイラストをいっぱい使いお話ししていきました。具体的な内容について、食事に関しては姿勢や一口量の調整、食べる速さの調整がむせの予防につながることを説明しました。床ずれ予防は、家庭で床ずれとなり入院する患者さんが多いことから、体位変換や椅子での座り直しによる摩擦や圧迫の除去、皮膚を清潔に保つことが床ずれの予防になることとお話ししました。オムツについては、排泄物のもれを防止し最大限吸収できるように、使う本人に合わせた物を使用し、ギャザーをしっかりと広げてずれないように当てるコツをお伝えしました。体位変換の仕方は、軽い力で横向きにする方法を紹介しました。

出前講演では、今現在介護に携わっている方や過去に経験した方が多数いらっしゃるのかと思い写真をたくさん入れて説明しました。今回は実際介護に携わった方が少なかったのですが、いつ急に介護しなければならぬ時がくるかもしれません。その時のために、今回は実演も交えながら説明していきたいと考えています。

今度機会がある時には、皆さんと交流を持ちながら楽しい雰囲気になりたいな～と思います。介護は1人で抱え込まず、周囲の助けを借りながら、時には介護者自信の気分転換を図って介護できるようになれば最高ですね！

また機会がありましたらよろしくお願ひします。ありがとうございました。

出前講演の問い合わせについては、医事経営課または千厩病院ホームページでも確認できます。

<http://www.senmya-hospital.jp>

千厩病院

検索



緩和ケアチームのご案内

緩和ケアとは、病気に伴って現れる痛みをはじめとする身体のつらい症状や心の痛みを和らげ、患者さんご家族が「からだ」と「こころ」の調和を保ちその人らしく過ごしていくための医療です。

当院では、診療を受けておられる患者さんご家族をサポートする「緩和ケアチーム」を結成し活動しています。診療の始めよりどの時点からでもお手伝いさせていただきます。



緩和ケアチームの活動内容・相談内容

病気になった事で起こる患者さんご家族の心配事について、どのような内容でもご相談ください。

1. 患者さんのからだのつらい症状への対応
痛み、吐き気、身の置き所のないだるさ、食欲がない、息苦しさ、便秘、下痢など
2. 患者さんのこころの痛みへの対応
不安、怒り、気分の落ち込み、絶望感、孤立感、いらいら感、眠れない、どうしてよいかわからない気持ちなど
3. ご家族への支援
患者さんと過ごしていく上でのいろいろな悩み、将来への不安、医療費などの経済的な問題、ご家族自身のからだやこころの不安など

緩和ケアチームスタッフ

担当医師	佐藤 一			
担当看護師	佐藤 久美子	佐藤 美智代	伊藤 富久子	鈴木 美智子
	木地谷 加奈子			
薬剤師	藤原 理子	佐々木 良江	管理栄養士	坂上 紘子
放射線技師	高橋 直也		医事経営課	高橋 進
理学療法士	泉 健太郎		臨床検査技師	渋谷 奈央
医療相談室	中澤 園絵	金野 奈々		

「すべての人びとに安らぎと希望を」



復興と再生へ

~Together As ONE~



再生への願い【若草リボン】

岩手県立千厩病院

〒029-0803

岩手県一関市千厩町千厩字草井沢32番地1

TEL 0191-53-2101

FAX 0191-52-3478

<http://www.senmya-hospital.jp> Email:EA1012@pref.iwate.jp

編集・発行 岩手県立千厩病院広報委員会